



中野 晴啓からのメッセージ

なかのアセットマネジメント株式会社
代表取締役社長 中野 晴啓

長距離列車「なかの号」が出発いたしました。自身の前職退任から多くの皆さまにご心配をおかけいたしました。そこから10か月足らずで、新会社「なかのアセットマネジメント」が2本の長期投資ファンドで事業開始出来ましたことは、ひとえに皆さまの篤い激励のお陰であり、心より深く深く感謝申し上げます。

さて、長期投資の旅をスタートさせた2本のファンドは、いずれも無論徹底した長期投資で、銘柄選択を厳選する本格派のアクティブ運用を実践していきます。ちょうど世界全体がインフレ経済に急転換し、これから暫しインフレ前提社会が常態化して行くでしょう。

それは、資産運用環境にも抜本的なパラダイムシフトを促し、産業界の優勝劣敗が顕著になることによって、銘柄厳選型の本格的アクティブファンドの優位性が顕在化されて来るはずで、なかのアセットはそうしたメガトレンドをいち早く捉えて、高品質な優良成長企業を長期保有する「クオリティ・グロース」という運用スタイルにとことん拘って、長期的に卓越した運用成果を実現すべく、深い経験知に裏打ちされたプロフェッショナルを尽くし、高度なアクティブ長期投資を体現してまいります。

ここからの旅をワクワク一緒に愉しんでまいりましょう！

ポートフォリオマネージャー山本 潤より

わたしたちは長期投資を志向しています。ですから短期の株価動向には一喜一憂しません。今月や来月のプラスの成績を目指しているのではなく、数年後に企業価値が倍増することを選定の基準にしています。つまり、わたしたちは気まぐれな株価よりも、投資先の事業価値の増大にフォーカスしています。お蔭様で将来に向けて利益の高成長が見込まれるクオリティ・グロース企業20社を厳選することができました。

当ファンドのマンスリーレポートは、月次のファンドの状況をご報告するものではありませんが、何が上がって何が下がったかをこと細かに書くものにはしたくないのです。そうではなく、高い志を持つ投資先経営者を紹介し、エンゲージメント活動について具体的に皆様にご説明申し上げるべきだとわたしたちは考えました。

レポートでは全ての保有銘柄を開示しています。わたしたちは日本で一番透明な運用を目指しています。今月は投資先企業を保有するに至った理由を書きました。

投資先20社の今期の予想配当成長率は平均で11%とわたしたちの想定通りに企業価値は増大しています。エンゲージメント活動により成長率を高めていくよう運用部一丸となって努力いたします。

なかの日本成長ファンド
ポートフォリオマネージャー
山本 潤

※ コメントの内容は過去の市場環境、運用実績および投資行動であり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではありません。
※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。

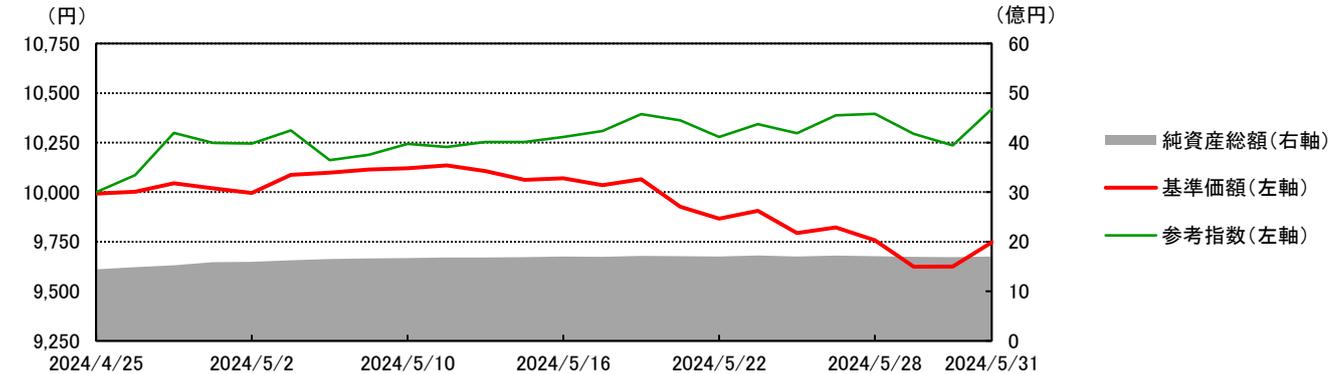
お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

設定・運用は **なかのアセットマネジメント株式会社**
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3406号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会
ホームページ: <https://nakano-am.co.jp/>



当ファンドは、特化型運用を行います。

● 基準価額等の推移



※ 基準価額は信託報酬控除後の価額です。
 ※ 参考指数は「TOPIX(配当込み)」であり、設定日の値を10,000円として計算しています。

● 基準価額および純資産総額

	2024年5月末
基準価額	9,747円
純資産総額	17億円

※ 純資産総額は、単位未済を切り捨てて表示しています。

● 分配金実績(一万口当たり、税引前)

期	決算日	分配金
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計		-

※ 運用状況により分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

● 騰落率

	当ファンド	参考指数
過去1ヶ月	-3.0%	1.2%
過去3ヶ月	-	-
過去6ヶ月	-	-
過去1年	-	-
過去3年	-	-
設定来	-2.5%	4.2%

※ 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

ポートフォリオの状況(なかの日本成長マザーファンド)

● ファンド指標

アクティブシェア*	95%
-----------	-----

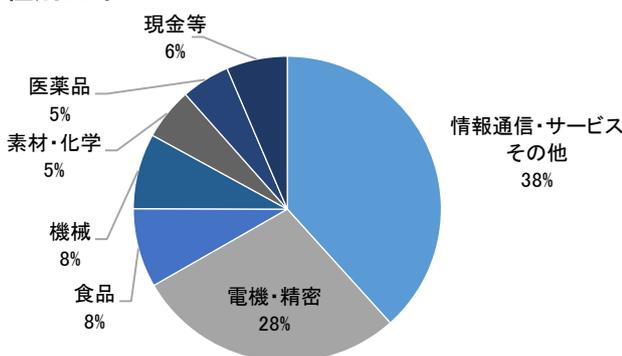
※ ファンドの組入れ内容がTOPIXとどれほど異なるかを測る指標です。80%以上が真のアクティブ型ファンドとされています。

● 時価総額別比率

大型株	46.0%
中型株	27.6%
小型株	20.0%
現金等	6.4%
合計	100.0%

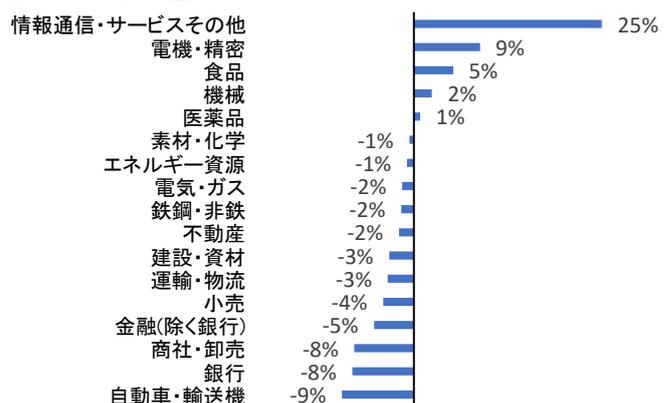
※ 大型株: 5,000億円以上
 中型株: 1,000億円以上、5,000億円未満
 小型株: 1,000億円未満
 ※ Bloombergの情報を基に作成しております。
 ※ 比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

● 業種別比率



※ 「業種別比率」はTOPIX17業種の分類で区分しています。
 ※ 比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

● TOPIXとの差



※ 「TOPIXとの差」はTOPIX17業種の分類で区分しています。
 ※ 現預金を含まないマザーファンドの業種別組入比率とTOPIX17業種との業種ごとの差を表示しています。

※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
 ※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



●組入銘柄概要

銘柄名	銘柄コード	業種	組入比率
1 エスプール	2471	情報通信・サービスその他	6.3%
	障がい者への支援サービスのほとんどは、税金をベースにしていますが、同社の障がい者雇用支援ビジネスは民間企業が雇用主となるため税金を使いません。障がい者が有機農法や自然農法を学び、その成果物を社食の食材に活用するなど、障がい者が主役となって企業の健康経営の促進の一助となっています。SDGsが目指す「誰一人取り残さない」というグローバル社会の理想に合う投資先のひとつだと考えています。		
2 カカコム	2371	情報通信・サービスその他	5.9%
	同社の「食ベログ」事業に注目しています。少子化により人口が減少する日本において海外からの訪日客によるインバウンド需要の掘り起しは重要な社会課題のひとつです。同社は7月より訪日客向けのレストランのネット予約サービスを開始します。日本の豊かな食文化を世界に発信していくプラットフォームとして期待しています。レストランにとっても予約が先々まで埋まることで食材ロス低減や経営安定化につながります。		
3 ジャストシステム	4686	情報通信・サービスその他	5.6%
	キーエンスの連結対象で社員の生産性が極めて高い企業です。教育コンテンツが紙からデジタルへと変化していく時代の波に乗り同社のデジタル教育サービスであるスマイルゼミがこの12年間で大きな成長を見せました。近年は少子化の影響で業績の伸びは一服していますが、海外事業や法人向けのシステムの強化に取り組んでいます。一方で、同社のIRは改善の余地が大きいのも事実ですので、同社とは丁寧な対話を始めていく所存です。		
4 オロ	3983	情報通信・サービスその他	5.5%
	ソフトウェア開発業やコンサル・広告業では多数のプロジェクトをマネジメントしなければならないのですが、キーパーソンが複数のプロジェクトに配置されることも多く、プロジェクトごとの費用対効果を測ることが難しい業界のひとつです。ITやコンサルを営む中小企業に対してZACというクラウドERPを順調に拡大させているのが同社です。ストックビジネスかつ高成長というクオリティ・グロースのカテゴリーに入る投資先です。		
5 扶桑化学工業	4368	素材・化学	5.5%
	半導体製造工程のCMP（化学機械研磨）スラリー向けの材料である高純度コロイダルシリカで同社は独占的なシェアを誇ります。半導体の微細化と積層化のトレンドによりCMP工程自体が増加していることに加えて、スラリーの高濃度化も同時に進行しているため、今後数年間に渡る利益成長が期待できます。ライフサイエンスでは果実酸の製造販売のアジアにおけるトップ企業でもあり、食文化の高度化に貢献する企業です。		
6 ラクス	3923	情報通信・サービスその他	5.4%
	中小企業の生産性を高めることができれば日本経済は活性化します。同社のクラウドサービス「楽楽精算」は経費処理のデジタル化をコスパよく促すため、日本の中小企業に急速に受け入れつつあります。楽楽精算の導入社数は8年で10倍以上に増加しました。クラウドサービスは月額課金でありストックビジネスであるため業績の下振れ懸念が小さく、なかのアセットの運用スタイルであるクオリティ・グロースに合う投資先です。		
7 日本M&Aセンターホールディングス	2127	情報通信・サービスその他	5.2%
	日本経済の屋台骨を支える中小企業のうち、60万社が後継者難により黒字でありながら廃業の危機に直面していると言われています。同社はコンサルタント数600名超を誇るM&A業界のトップランナーです。中小企業の生産性の向上なくして日本経済の再生はありません。なかのアセットはこうした日本の抱える深刻な課題に対して、投資先と共に汗を流して日本の中小企業を支えていきたいと考え、同社を保有するに至りました。		
8 ロート製薬	4527	医薬品	5.1%
	国内のスキンケアのシェアトップ企業です。肌ラボ、メラノCCが近年、大きくシェアを伸ばしています。同社はもともと再生医療を手掛ける医薬品メーカーです。細胞レベルで老化の仕組みを解明して、効果を測定しエビデンスを構築しています。現場の力量も高く、極めてコスパのよい機能性化粧品をスピード感を持って市場へ投入しています。旺盛なインバウンド需要をしっかりと取り込んでおり、業績の拡大が続いています。		
9 オリnbas	7733	電機・精密	4.6%
	病気を未然に防ぐ内視鏡のグローバルトップ企業です。内科や外科をはじめとする同社の治療機器についても、おしなべて低侵襲手術の増加の恩恵を受けます。新興国では同社製品の普及余地がとりわけ大きく息の長い利益成長が期待できます。高齢化が進み検査や低侵襲手術への需要がグローバル的に拡大しているからです。新製品においてはカメラの高感度化やAI診断の導入により医師の手技や検査の質の向上に同社は貢献しています。		
10 プラスアルファ・コンサルティング	4071	情報通信・サービスその他	4.4%
	企業が持続的に発展するためには、社員の成長やチーム間の相性が大事です。社員の成長やチーム内の有機的つながりをしっかりと記録に残すには、エビデンスに基づいた戦略的な人材マネジメントが求められます。企業の人的資本の成長を長期でデザインするためのクラウドサービスが同社の提供するタレントパレットです。やはり、高成長かつストックビジネスというクオリティ・グロースのカテゴリーに入る投資先です。		

※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



●組入銘柄概要

	銘柄名	銘柄コード	業種	組入比率
		銘柄概要		
11	ヤクルト本社	2267	食品	4.4%
		同社は創業来、一貫してプロバイオティクス(良好な腸内環境が心身を健康にするという考え)を推進してきました。また、世界中に販売員を配置して、時間はかかっても顧客との丁寧な対話をしてきました。なかのアセット運用部の運用方針第1条は、「常にベストコンディションを保て」です。世界中の人々がベストなコンディションを保つためにはどうしたらよいかを共に考えて、行動していくために同社を保有するに至りました。		
12	ダイキン工業	6367	機械	4.2%
		空調機器のグローバルトップ、かつ、省エネ技術のトップランナーです。経営力も卓越しており、毎年のようにグローバルシェアを高めています。インドにおける売上が今期には1400億円となるなど、一般的には競争の厳しい新興国においても高い収益性を実現しています。温暖化ガスの削減が地球規模の課題となる中で、同社は極めて有利な立場にあります。ガスや灯油などの燃焼暖房が2030年代には禁止されるからです。		
13	村田製作所	6981	電機・精密	4.2%
		MLCC(積層セラミックコンデンサ)のグローバルトップ企業です。自動車向けでは5割のシェアを誇り、車の電動化や自動運転の普及により恩恵を受ける企業のひとつです。主力のMLCC事業は着実に増収が期待できるクオリティ・グロースのカテゴリーに入ります。高周波フィルターの大手でもあり、通信規格の6Gへの高度化の恩恵も期待しています。現預金の水準も高く資金効率のさらなる改善が想定されます。		
14	ローム	6963	電機・精密	4.2%
		温暖化ガスの低減には内燃機関の段階的廃止が必要です。EV(電気自動車)の普及の加速が見込まれます。EVモーターを駆動する高耐圧のパワー半導体の代表がSiC(炭化ケイ素)半導体であり同社は大手の一角です。また、東芝再建のパートナー企業として東芝との半導体協業のあり方も具体的な議論が始まります。わたしたちは同社のEPS成長を棄損することないような協業のあり方を模索しつつ定期的な対話をしています。		
15	味の素	2802	食品	4.0%
		高成長分野の半導体パッケージ向けの絶縁フィルムで独占的です。アミノ酸技術を基盤に、やはり高成長分野であるCDMO(製造受託)領域でも独自のプロセス優位性があります。主力の調味料・食品はアジアにおいてシェアを向上させてます。北米地域の冷凍食品事業も収益貢献が始まりました。2030年に向けて資本効率の改善に取り組んでおりROE倍増とEPS3倍増を見込んでいるクオリティ・グロース企業です。		
16	朝日インテック	7747	電機・精密	4.0%
		低侵襲のカテーテル治療向けのガイドワイヤのグローバルトップ企業です。低侵襲手術の普及は地域面と手術領域面の双方で期待できます。地域面ではインドなどの新興国でさらなる普及が見込まれます。手術領域ではこれまでの循環器系(心臓血管)に加えて、腹部・脳・抹消血管系においてもカテーテル手術の症例が増加していきます。年率の成長率ではなく成長期間の長さが突出しています。両者の掛け算が企業価値の増大に寄与します。		
17	オムロン	6645	電機・精密	3.9%
		同社は血圧計のグローバルトップ企業です。血圧のデータは広く、保険商品の生成、製薬の臨床試験等においても活用されます。医療データのトップ企業であるJMDCを連結しデータ活用による新たな価値を創造する取り組みが始まっています。日本の製造業の将来像を同社は模索しています。事業のデジタル化はリカーリング化に寄与します。対話を通して同社の資本コストの低減のためにできる限り関わりたいと考えています。		
18	島津製作所	7701	電機・精密	3.9%
		余剰資金については経営も認識しておりROICなどの資産効率がこれから改善していく企業です。環境問題の解決や人類を救う創薬の分析には不可欠な液体クロマトグラフや質量分析装置が主力製品です。これらの拡販についてはアジア、特にインドで成功しつつあり、シェアも過去20年しっかりと向上しています。ビジネスモデルを試業やカラムなどのリカーリングの比率が今後徐々に高まっていくため収益性も改善していくでしょう。		
19	技研製作所	6289	機械	3.7%
		騒音ゼロの圧入工法を発明し世に広めた高知の企業です。ゲリラ豪雨やスーパー台風の多発など地球温暖化の影響は深刻です。我が国も土の堤防が基本であり、豪雨増水による堤防の決壊が後を絶ちません。圧入による杭による堤防であれば、決壊することはないのです。堤防も圧入工法へ切り替えることで持続的な国民の資産となります。圧入工法のさらなる普及が都市や国家の水没を防ぐことにつながります。都市化のトレンドも追い風です。		
20	浜松ホトニクス	6965	電機・精密	3.7%
		X線のような危険な光を検知するセンサーのシェアトップ企業です。CTのような医療向けで安定したビジネス基盤を有しています。医療機器向けに加えて産業向けのEV用バッテリーの検査装置や半導体の故障解析装置向けでも拡販が進んでいます。シェアの高いセンサー類に加えて、光源事業でもM&Aによる強化を継続しています。これにより受発光トータルシステムの提案ができるようになりました。資産効率の改善も期待できます。		

※ 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



●投資先企業のご紹介

<p>エスプール (2471)</p>	<p>「この芽キャベツはシチューに入れるとおいしいんです！思い出の味で…」</p> <p>前日までの大雨が嘘であるかのように晴れたある日の朝、東京近郊で障がい者が農業に従事している「わーくはびねす農園」に見学取材に赴いてまいりました。</p> <p>障がい者の社会参画の形の一つである障がい者雇用制度は、企業が法定雇用率以上の障がい者を雇用することによって成立しています。この農園では、主に知的障がいをお持ちの方が、野菜の栽培・収穫といった農作業を通して、農園をレンタルしている企業の社員として働いています。障がい者と企業のマッチングから就労定着、日々の業務遂行支援まで、一気通貫してサポートするのが、同社の子会社エスプールプラスの主力事業です。</p> <p>利用者が自宅から通える圏内で、従来の就労継続支援事業では容易に達成しえない障がい者の経済的自立を目指すこのビジネスモデルは、同社の障がい者雇用にかかる粘り強い試行錯誤が結実したものとして生み出されたものといえます。障がい者の雇用継続率9割以上と、高い満足度を達成しながら同社の運営する農園数が拡大した背景には、前例がない中での行政との地道な交渉や、利用者のチーム編成の妙といったソフトなノウハウなどが存在し、容易に模倣できるものではなく高い参入障壁となつて機能しています。</p> <p>冒頭にあるような農園での案内や説明は、障がい者が分担して行ってくれました。自分の言葉で一生懸命伝えてくれた、手間暇かけて育てた野菜の栽培法や調理法は、私たちが知らないことも多く、その意味では障がい者が専門家であり先生になっているともいえます。</p> <p>取材を通し、法令を遵守し障がい者一人ひとりの個性を大切に同社の姿勢や、雇用した障がい者を事業活動に取り込もうとする農園利用企業の熱意を強く感じました。社会保障費の抑制が図られるマクロ環境下で、企業が共生社会へ担う責任はいよいよ重くなり、法定雇用率もさらに引き上げられる見込みです。同社が引き受ける社会的ニーズはますます拡大していくといえます。(関口 耕大)</p>	 
<p>エスプール様へのなかのアセットからのエンゲージメント方針</p>	<p>障がい者雇用を営む同社が営業利益率で10%超を達成していることが「儲けすぎではないか」という社会的批判を招きがちです。しかしながら、ビジネスが「儲けすぎ」かどうかは、単に営業利益率だけではなく、資本効率（ROAやROIC）も含めた議論をするべきなのです。農園を経営する同社はむしろ、儲けすぎどころか、バランスシートが膨らみやすいビジネスモデルであるため、投資効率はむしろ低位であることが経営課題だとわたしたちは考えています。こうした世論と投資家との認識のギャップを埋めていくことも運用会社の役割と考えます。</p> <p>障がい者を農園で雇用する同社の社会的意義は大きく、それなのに社会的な批判をされる方々がいることはとても残念です。批判者に対してはROICやROA指標の理解や説明をしていくことが重要です。わたしたちは、同社が社会的批判を避けるために、様々な新規ビジネスを自治体向け等に行っているようにも見えており、多角化によるバリュエーションの低下（コングロマリット・ディスカウント）が懸念されます。これからも同社とは、粘り強く対話を重ねていきたいと考えています。(山本 潤)</p>	
<p>エスプール小話社名の由来(同社HPより)</p>	<p>Solution(解決策)・System(システム)・Staff(人材)・Sustainability(持続可能性)の4つの“S”を“POOL”(蓄積)し、お客様の課題を解決していきたいという想いが込められています。また“spool”という英単語には、「糸巻き」や「巻く」という意味があり、これらの“S”をノウハウとしてたくさん巻き込んでいきたいという想いも込められています。</p>	<p>写真：首都圏にあるエスプール「わーくはびねす農園」の様子。弊社の居林運用副部長と関口アナリストが収穫を体験しました。</p>

※ 巻末記載の「当資料をご利用にあたっての注意事項等」を必ずお読みください。



●運用チームの紹介

	役職	氏名 血液型	コメント
	代表取締役社長 最高投資責任者 (CIO)	中野 晴啓 気配りのA型 です。	なかの資産運用部は、社会と生活者への想いをひとつにした、強力なプロフェッショナルチームになりました！メンバーはベテランから中堅・若手が程よくブレンドされて、皆に自由なりサーチを励行する放牧スタイル。そしてCIOは中野が務めます。とにかく楽しくワクワクと共感をモットーに、本格的長期投資に相応しい徹底長期目線で銘柄選択を厳選してまいります。そして各社とのエンゲージメント(対話)状況もしっかり皆さまにお伝えしながら、運用者と長期投資家の皆さまとの理想的アンサンブルを奏でる、素敵なファンドに仕上げてまいります。ご期待くださいませ！
	運用部長 兼 チーフポートフォリオ オマネジャー	山本 潤 O型です。母 Bで父O。ちな みに子供4人 ともO型でし た。	ここに素晴らしい運用プロフェッショナルたちが、なかの資産マネジメントに集いました。6月と7月にも新しい仲間が2名加わる予定です。運用チーム一丸となって全力を尽くすことをお約束いたします。日本企業は資本効率の改善に本気で取り組み始めました。わたしたちは、親身になってそのお手伝いをしていきます。そして、日本の運用業界をよりよいものにしていきます。ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。
	運用副部長 兼 シニアポートフォリオ オマネジャー	居林 通 不明なので す…	株式投資は企業に投資するわけですが、「企業は経営者によって大きく変わる」ということをわたしは何度も経験しています。そのため、企業の経営者の発信するメッセージにアンテナを巡らせ、企業が「何をしようとしているのか」、「どうしてその戦略をとるのか」を理解しようと努めています。成長する企業を見つけ出すことは容易ではありませんが、これまでの経験を生かしてチームに貢献したいと思っています。
	シニアポートフォリオ オマネジャー 兼 シニアアナリスト	菅 淑郎 Ao型	ようこそ、なかの資産マネジメントが考える長期投資の世界へ！30数年前ロンドンのパブでの西生さん(今回一緒にジョイン)との出会いが、私の磨きたい投資の哲学と技術の方向性を決め、予想もしえない運命をたどり、ここに至りました。その間、数多の恩人の御好意に恵まれたことは感謝に堪えません。3年前に角膜提供を受け、左目が開眼。その力も得て、ひたすら受益者の皆様の期待に応えるべく、当社で仕事をする喜びにあふれ邁進する毎日です。
	シニアアナリスト	大月 天道 O型	初めまして、アナリストの大月と申します。(中には「お久しぶりです」の方もいらっしゃるかもしれませんが。)長期投資の旅は決して楽なことばかりではありませんが、受益者の皆様に少しでも道程を楽しんでいただけるよう、セミナーや投資先に関するレポートなどで積極的に情報発信していけたらと思います。皆様のご期待に添えるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。
	アナリスト	谷 亜矢野 O型	皆さま初めまして。アナリストの谷です。私はなかの資産を、登山のシェルパのような存在にしたいと思っています。なかの資産への投資を通じて、受益者の皆様がお金に苦勞することなく、自己実現を目指すことができるように、そして安心して身を委ねて頂ける存在となります。誰よりも誠実に謙虚に、嘘を付かず、受益者の皆様と真摯に向き合う所存です。今後ともどうぞよろしくお願いたします。
	アナリスト	関口 耕大 A型	中野社長のかかげる「生活者」を第一に置いたビジョンに強い共感を覚え、この度チームの中で最も若いメンバーの一人として運用に携わらせていただきます。クオリティ・グロースの運用哲学を貫徹させた運用を行うことが至難の業であることは承知のうえで、易きに流されず、徹底したボトムアップリサーチを行っていく所存でございます。皆様からの叱咤激励が何よりの力となりますので、お引き立てのほど、宜しくお願申し上げます。



●ファンドの目的・特色

ファンドの目的

主として、国内の金融取引所に上場している株式に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

ファンドの特色

- 1 確度の高い長期的な利益成長が見込まれる(クオリティ・グロース)企業への厳選投資を通して信託財産の長期的な成長を目指してボトムアップ運用を行います。
- 2 株式投資は高位を維持します。また、売買回転率は低水準に抑えます。
- 3 運用プロセスは以下の通りです。
 - ・ユニバースの選定基準
投資先企業については長期に渡る利益の成長が確度高く見込まれる企業を厳選し、期間と成長率の積の大きさ及びその確度の高さでユニバースを構築・管理・維持します。
 - ・独自のボトムアップ調査と銘柄選定
投資候補先企業の提供する財やサービスを深く洞察し、取材に基づく長期の業績予想を行います。成長率、成長期間、資本コスト、市場環境から理論株価を算出し、株価水準との対比で年率のアップサイドの確度と大きさを投資判断を行います。
 - ・エンゲージメント
投資先候補の経営課題を洗い出し、成長率、成長期間、資本コストを改善するための対話と提案を定期的に行います。企業との対話を継続し、企業の持続的な成長性の底上げを行うよう努力します。
 - ・ポートフォリオ管理
厳選された投資先企業との対話を定期的に行い、ボトムアップリサーチによる長期の業績予想を継続的に行い、理論株価と現株価との乖離と業績予想への確度の高さをもってポートフォリオを適宜見直します。1-2年のリターンではなく、10-20年において数倍から数十倍になる投資リターンの達成を目指します。

ファンドの仕組み

当ファンドは、主にマザーファンドに投資するファミリーファンド方式で運用を行います。

分配方針

- 毎決算時(原則として毎年4月24日。ただし、休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。
- ・分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
 - ・分配金額は委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
 - ・留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。
- ※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

●投資リスク

基準価額の変動要因

- ・ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- ・**信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。**
- ・投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの主なリスクは以下の通りです。

●価格変動リスク

株式の価格は発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。また、債券の価格は市場金利や信用度等の変動を受けて変動します。ファンドはその影響を受け、組入株式や組入債券の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

●信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

●流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。

●集中投資リスク

当ファンドは、銘柄を絞って運用を行うため、市場動向にかかわらず基準価額の変動は大きくなる可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。



収益分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ファンドは、大量の解約が発生し、短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。
- 一般的に、時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落の要因となる場合があります。

リスクの管理体制

委託会社では、リスク管理規程や運用モニタリング規程等の社内規程において、リスク管理の対象となるリスク、リスク管理体制および管理方法等が定められています。

- 委託会社は受託者責任を常に念頭に置いたうえで、投資信託の「投資リスク」を適切に管理するため、①運用部門において、投資信託の各種リスクを把握しつつ、投資信託のコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うこと、②運用部門から独立した管理部署によりモニタリング等のリスク管理を行うこと、を基本の考え方として、リスク管理体制を構築しています。
- 委託会社では、流動性リスク管理に関して、投資信託の組入資産の流動性リスクのモニタリング等を実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証等を行います。委託会社の取締役会等では、流動性リスク管理を含めた実効的なリスク管理体制の整備、運用について監督します。

● 手続・手数料等

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。 ※ 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額(1万口当たり)とします。
換金単位	販売会社が定める単位とします。 ※ 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
信託期間	無期限(2024年4月25日設定)
繰上償還	委託会社は次のいずれかの場合には、繰上償還することがあります。 <ul style="list-style-type: none">純資産総額が10億円を下回ることとなった場合。信託契約を解約することが投資者(受益者)のため有利であると認めるとき。やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	原則として、毎年4月24日とします。(休業日の場合は翌営業日) 第1決算日は2025年4月24日とします。
収益分配	原則として、年1回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※ 販売会社との契約によっては再投資が可能です。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 <ul style="list-style-type: none">公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。当ファンドは、NISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。配当控除の適用があります。益金不算入制度は適用されません。



ファンドの費用・税金

●ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- ・ 購入時手数料 **ありません。**
- ・ 信託財産留保額 **ありません。**

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- ・ 運用管理費用(信託報酬) 信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に対して、**年率1.1%(税抜1.0%)**を乗じて得た額とします。運用管理費用は、日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。
- ・ その他の費用・手数料 監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他の費用・手数料は、その都度信託財産から支払われます。
※これらの費用・手数料等については運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※ 投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することはできません。

●税金

税金は表に記載の時期に適用されます。

以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時 および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

※ 少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」をご利用の場合

NISAは、少額上場株式等に関する非課税制度です。

NISAをご利用の場合、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした商品を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※ 法人の場合は上記と異なります。

※ 上記は、2024年2月末現在のものです。税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

●委託会社およびファンドの関係法人

委託会社

ファンドの運用の指図を行う者

なかのアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3406号
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会
 ホームページアドレス: <https://nakano-am.co.jp/>

受託会社

ファンドの財産の保管および管理を行う者

野村信託銀行株式会社

販売会社 ファンドの募集の取扱い等を行う者	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
第一生命保険株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第657号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	

●当資料をご利用にあたっての注意事項等

- ・ 当資料はなかのアセットマネジメント株式会社が作成した資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
- ・ ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- ・ 信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。
- ・ 当資料は、なかのアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その内容の完全性、正確性を保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- ・ 投資信託は預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関で購入いただいた場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ・ 本資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。